



特集1 「岡山のCOOL 発見!」第2回	P 2
特集2 平成28年度 一般財団法人 岡山県国際交流協会 年間イベント一覧	P 3
事業報告 ボランティア研修会 ほか	P 4
スペシャルインタビュー 岩政 大樹選手(フジアーノ岡山)	P 7
世界の文化 ～結婚式編～	P 8
Think Global, Act Local ～県内国際団体のご紹介～ NPO法人 岡山日本語センター	P 8
お知らせ サポーター派遣 ほか	P 9
イベントカレンダー 子ども日本語学習サポーター 研修会 ほか	P 10

おかやま 国際交流



「岡山のCOOL 発見!」第2回 ～岡山の伝統産業～

1月23日(土)



こちらのQRコードを読み取り、
動画をご覧ください。

一般社団法人大学女性協会岡山支部との共催により、岡山の地で長い歴史と伝統技術に裏付けされた「伝統産業」をテーマに開催しました。今回は、初めての試みとして、ニュージーランド、ペルー、ロシア等出身の6名の出演外国人の皆さんが事前に伝統産業の現場を訪ねて見学や体験を行い、出演者自身が肌で感じとった伝統技術の尊さや感動を熱く語りました。その感動は73名の聴衆の胸を打つものであり、あらためて岡山の伝統産業の価値に気付かされた時間となりました。

(詳細は、次ページをご覧ください。)

特集①「岡山のCOOL 発見!」第2回 ～岡山の伝統産業～

1月23日(土)

司会 ホーキンス・ラファエルさん(オーストラリア)、角田 みどりさん(日本)
出演 サルティニ・レアンドロさん(アルゼンチン)、スチャーヨ・シギトさん(インドネシア)、ストーン・ケーレブさん(ニュージーランド)
寺田 アユミさん(ペルー)、西川 ナタリヤさん(ロシア)、ユン・カプチンさん(韓国)

司会の角田 みどりさんの明るい一声に続き、ホーキンス・ラファエルさんの「しももたろう、ももたろさん」の陽気な歌声で会はスタートしました。

ユン・カプチンさんは、創業160年の歴史を持つ株式会社廣榮堂(岡山市)を訪ね、**きびだんご**の製造工程を見学しました。黒船来航の頃から原材料にこだわり、安全で高品質なものを作り続けていることがCOOLと話しました。

地下足袋で日本一のシェアを誇る株式会社丸五(倉敷市)を訪問した**サルティニ・レアンドロさん**は、**地下足袋**を履いて登場しました。地下足袋は、丁寧に手作りされていて、とても履き心地が良い。身体にも良く、万能であることがCOOLと話しました。丸五の社員の皆さんも地下足袋姿で来場され、新製品を紹介しました。その後、ロシアやニュージーランドでも地下足袋が見られるという話題になり、地下足袋が世界に進出している岡山の伝統産業であることを実感しました。

寺田 アユミさんは、有限会社武久守商店**張り子の虎**製造所(瀬戸内市)を訪れました。作業所に入って、ショーケースにたくさん動物が並んでいることに驚き、虎だけではなく、毎年、干支の動物も張り子の人形になることがCOOLだと話しました。また、絵付け体験で制作した干支であるサルの人形を披露すると、会場からは、そのかわいさに「わぁ～」という驚きの声が上がりました。

ストーン・ケーレブさんは、324年の歴史を持つ室町酒造株式会社(赤磐市)で、早朝から職人の方々と**雄町の酒造り**を体験しました。蒸した米を冷ますために広げる作業は、やけどするほど熱く、寒い時期に米を洗うのは、手が凍るほど冷たかった。命がけで危険を伴う作業もあるが、仕事への誇りが感じられて感動した。お金中心ではないことが感じられCOOLと語りました。

室町酒造の花房 満社長も会場に駆け付け「ケーレブさんは、日本酒のコンシェルジュになれると思う。体験してくれてありがとう」と述べました。

西川 ナタリヤさんは、早鳥町の**い草産業**に関連する資料館を見学し、花ござ手織り伝承館では、い草織を体験しました。い草からカバンや帽子ができること、カーペットの模様は細かく表現され、絵のようにきれいなところがCOOLと話しました。また、ロシアのビーチでは、感触が良いことから、い草のマットが流行っていると紹介しました。受け入れをしてくださった早鳥町職員の皆さんは、町のPRをしました。

スチャーヨ・シギトさんは、藤森陶志、信太郎親子が営む備前焼工房「蕃山窯」(備前市)を訪ね、ちょうど火入れが終了して、窯の中で**備前焼**を冷ましている貴重な光景を見学するとともに、初めて備前焼作りを体験しました。インドネシアの陶器は、模様を入れ色を付けて作るが、備前焼は、焼く温度などで色や模様の変化があること、酒やビールを備前焼で飲むとおいしくなることがCOOLと話しました。

参加者から「日本人にも自分の土地の文化を知ることができて良い機会だった」「海外にも日本の文化が多く発信されていることがわかって良かった」「岡山の伝統産業がいかに長い時間を経て継承されているのかを知り感動した」等の感想が寄せられました。

★今年度の「岡山のCOOL 発見!」は、以下の日程で開催します。皆さま奮ってお越しください。

第1回 7月10日(日) / 第2回 11月3日(木・祝)

ともに13:30～15:00

岡山国際交流センター1階ロビーにて。

★Facebookでも情報を発信しています!

<https://www.facebook.com/coolokayama>



職人の皆さんと蒸米を運ぶストーン・ケーレブさん(右)



熱心に地下足袋の説明を聞くサルティニ・レアンドロさん(右)



きびだんごのパッケージを手に語るユン・カプチンさん(左)



スチャーヨ・シギトさん(左)は、備前焼制作を初体験



思わず笑みがこぼれる参加者



サルの絵付け体験をする寺田 アユミさん(左)



ユニーモアあふれる語り回りで会場を沸かせた西川 ナタリヤさん(中央)

【月別事業】

(都合により、日程等変更する場合があります。)

予定月	事業名	開催予定日
4月	情報・図書ボランティア研修会	4月19日(火)
5月	おかやまフェアトレードデー!	5月21日(土)
6月	英語による絵本の読み聞かせ会①	6月12日(日)
	留学生と県民との交流会	6月18日(土)
	地域共生サポーター養成講座	6月25日(土)
7月	子ども日本語学習サポーター養成講座 第1回	7月3日(日)
	岡山のCOOL 発見! 第1回	7月10日(日)
	子ども日本語学習サポーター養成講座 第2回	7月16日(土)
	英語による絵本の読み聞かせ会 研修会	7月24日(日)
	地域共生サポーター研修会	7月30日(土)
	日本文化体験・交流会	7月31日(日)
	研修員ふれあい講座～ブラジル編～	8月6日(土)
8月	ウェストサイドカーニバル出展	8月13日(土)
	国際理解ワークショップ	8月下旬
9月	英語による絵本の読み聞かせ会②	9月11日(日)
	地球市民講座 第1回	9月25日(日)
10月	英語で話そう -英語で岡山寺社巡り-	10月2日(日)
	国際貢献・協力セミナー	10月8日(土)
	岡山を知ろう交流バスツアー	10月23日(日)
11月	岡山のCOOL 発見! 第2回	11月3日(木・祝)
	日本語ボランティアスキルアップ 研修会	11月5日(土)
	英語による絵本の読み聞かせ会③ 特別編	11月20日(日)
	海外マガジンリサイクル	11月中旬
12月	地球市民講座 特別編 ～映画上映会～	12月7日(水)
	話してみよう韓国語 -岡山大会-	12月10日(土)
	英語による絵本の読み聞かせ会④	12月11日(日)
	留学生と県民との交流会 -特別編-	12月18日(日)

予定月	事業名	開催予定日
H29.1~3月	国際貢献 NGO フェア	1月~3月
1月	多文化共生コミュニケーション サポーター研修会①	1月14日(土)
	多文化共生コミュニケーション サポーター研修会②	1月20日(金)
	多文化共生コミュニケーション サポーター研修会③	1月27日(金)
2月	英語による絵本の読み聞かせ会⑤	2月12日(日)
	地球市民講座 第2回	2月15日(水)
	日本語指導者スキルアップ研修会	2月18日(土) 又は 25日(土)
	岡山フェアウェルパーティー	2月25日(土)

【今年度予定しているその他の事業】


予定月	事業名
8~11月	研修員ふれあい講座
未定	災害救援専門ボランティア研修会①②
未定	一日ブラジル総領事館 in 岡山
H29.1~3月	ボランティア研修会

新規事業

日本文化体験・交流会

7月31日(日)

浴衣の着付け、茶道、デコ巻きずしなどの日本の伝統文化を体験! 体験後は交流会もあります。在住外国人の方はもちろん、県民の方も参加できます。日本文化を通じて、交流を図ります。



ボランティア研修会

1月22日(金)

講師：一般社団法人南太平洋協会 理事 堀内 義章氏

ボランティア登録者を対象に「パプアニューギニアに学ぶ～自然の恵みと心の豊かさ～」と題した研修会を開催し、実際にボランティア活動をしている堀内氏の体験談を16名が聴講しました。

まず、堀内氏から「ボランティアとは自分がやりたい時にいき、決して無理をしないこと。やれる範囲で支援することが大事」であることを教わりました。その後、パプアニューギニアでのゲストハウス建設やソーラー・風力発電の設置、教育支援、ドラム缶式炭焼きプロジェクトの推進と炭コンロの



研修会の様子

普及、医療支援の様子についてエピソードを交えながらの解説がありました。これからの課題である教育費、医療費などの支援の問題や治安、信頼した生活を築く対策などについても語りました。



現地の子供たちの写真

参加者からは「現地の人々の生活に根ざした活動をしている様子がとても伝わってきました」「人としての生き方を改めて考えさせられました」「パプアニューギニアのような、自然の中で生活が成り立っている国へ文明を取り入れていくボランティアの難しさを感じました」など感想が寄せられました。参加者それぞれが今後の活動の方向性を改めて考える良い機会となりました。

国際貢献NGOフェア

1月7日(木)～3月23日(水)

特定非営利活動法人岡山県国際団体協議会(COINN)との共催により、岡山国際交流センター1階ロビーにおいて、県内の国際団体11団体の活動を紹介するパネル展示をリレー方式で行いました。また、そのうち4団体は、岡山国際交流センター内の会議室で、自主企画によるイベントを開催しました。

各団体の工夫を凝らした展示は、センターの一般来館者の目を引き、多くの方が展示に見入っていました。

各団体のパネル展示期間	展示団体
1月7日～1月13日	(特活)日本・ミャンマー医療人育成支援協会
1月14日～1月20日	ダフプロジェクト
1月21日～1月27日	岡山青年国際交流会
1月28日～2月3日	AEA アジアの教育支援の会
2月4日～2月10日	(特活)歯科ネットワーク岡山から世界へ
2月11日～2月17日	(特活)岡山日本語センター(OJC)
2月18日～2月24日	日中友好協会岡山支部
2月25日～3月2日	日本ボーイスカウト岡山連盟
3月3日～3月9日	世界女性会議岡山連絡会
3月10日～3月16日	岡山エスペラント会 (展示協力:山陽女子中学・高等学校エスペラントクラブ)
3月17日～3月23日	ガールスカウト岡山県連盟



AEA アジアの教育支援の会



日本・ミャンマー医療人育成支援協会

英語による絵本の読み聞かせ会⑤

2月13日(土)

講師：カン・ショウアンさん (中国出身)
マラシガン・ジョン・エリスさん (アメリカ出身)

平成27年度「英語による絵本の読み聞かせ会」の最終会に10名の親子が参加し、英語や外国の話にいっぱい触れました。子どもの目線に合わせ、色々工夫がなされた講師の読み聞かせは、英語になじみのない子どもでもしっかり理解ができ、とても有益な経験となりました。

中国出身のカンさんは、家族の冒険を描いた絵本「We're going on a bear hunt」を読みました。事前に、タブレットパソコンで絵本に登場する単語をイラストで見せながら、クイズを出したり英会話の練習をしたりしたため、自然に英語になじんで絵本を楽しむことができました。

アメリカ出身のマラシガンさんは、出身地カリフォルニア州の海の生き物や釣人をホワイトボードに描いた後、絵を消したり加えたりする方法で話をし、親子とも夢中になりました。

カンさんの中国の話のコーナーでは、中国の面積や言葉をはじめ、中国の祭りや遊びなどに関する話を聞き、中国の文化に触れることができた貴重な体験となりました。



読み聞かせ会の様子

「地球市民講座」第2回

2月17日(水)

講師：東京大学総合文化研究科 特任准教授 辻上 奈美江氏

「サウジアラビアの女性の暮らし」をテーマに講演会を行い、34名が聴講しました。

昨年12月、サウジアラビアの地方議会選挙で初めて女性の立候補と投票が認められ、初の女性議員が誕生したという報道がありました。サウジアラビアでは今も厳格なイスラム教の解釈に基づく統治が続いており、女性の運転も禁止されているものの、少しずつ変化が訪れているようです。

辻上氏は何度もサウジアラビアを訪問しており、現地で買っ



黒色のアバヤを試着する参加者



講師の辻上 奈美江氏

た「アバヤ」と呼ばれる上着や、「ヒジャーブ」と呼ばれるヴェールなどの女性の衣装を実際に見せながら話をしました。今ではデザインや色、生地にもいろいろな種類があり、女性たちはファッションとして楽しむようになってきているそうです。なかなか直接、手に触れることのできない衣装に、参加者は興味津々でした。

参加者からは「知らない間に、自分もサウジアラビアのことを欧米のレンズで見ていることに気づけたことが面白かった」「女性の生き方も政治に左右されるのかと考えさせられた」「宗教的衣装と思っていたアバヤが、ファッションアイテムとして利用されていることが興味深かった」といった感想が寄せられました。

研修会「外国人と共に学ぶ災害時対応」 （「災害救援専門ボランティア(通訳・翻訳)研修会」）

2月20日(土)

講師：(特活) 多文化共生マネージャー全国協議会理事 柴垣 禎氏 ほか

瀬戸内市国際交流推進協議会等との共催により、同市のゆめトピア長船において、災害時の外国人支援について考える研修会を開催しました。

瀬戸内市内に在住するベトナム人技能実習生も参加し、27名の参加者は、4グループに分かれて熱心に受講しました。

午前中は、柴垣氏から災害時の多言語支援について講義を聞き、ボランティアとして外国人支援に欠かせない基礎知識

や必要な配慮について学びました。引き続き行われたグループワークでは、災害情報をやさしい日本語に変換する共同作業を通じて、外国人への情報提供の課題に気付きました。

午後は瀬戸内市危機管理課の講義を受講し、瀬戸内市等でこれまでに起こった災害や今後

予想される災害について学び、災害に備えることの重要性を理解しました。グループワークでは、2014年の大型台風の際に瀬戸内市が実際に発令した災害情報や避難勧告を教材に、どのような行動をとるべきか各自で考えたり、グループ内で意見を交わしたりしました。

あまり日本語ができない実習生に対し、ベトナム語ができない参加者は、分かりやすく情報を伝えるために、英語ややさしい日本語を使ったり、絵やジェスチャーで説明したりして、災害時の外国人支援のポイントを実習することができました。

南海トラフ地震の発生が危惧される中、このような実践的な研修はますます重要です。参加者は、地域に支援を必要とする外国人が住んでいることを知り、今後も必要な知識の習得に努め、外国人への配慮を忘れないようにしたいと語っていました。



講師の柴垣 禎氏



非常持出品を見るベトナム人実習生たち



研修会の様子

日本語指導者スキルアップ研修会

2月27日(土)

聖心女子大学文学部 准教授 岩田 一成氏

「地域日本語教室における対話型活動のすすめ」と題して、地域の日本語ボランティアを対象に開催し、29名が参加しました。

講師が制作に携わったテキスト「にほんご これだけ!」は初級の学習者がおしゃべりしながら基本文型が身に付けられるようになっているなど、教材のポイントを学びました。また、学習者とボランティアが会話をしている映像を見て、「日本語がうまいとは何か」や「コ



こちらのQRコードを読み取り、動画をご覧ください。

ミュニケーションのコツ」について考えました。

ボランティア活動については「過度に責任を負わないことが大切。できることとできないことの線引きをすること」など、負担にならないよう気楽に活動することで、ボランティア活動も長く継続できることや、おしゃべりをしていると沈黙する場面はあるが、沈黙が続くからと自分からばかり話してはだめ。学習者は一生懸命言葉を出そうと考えている。時には待つことも大切だと教わりました。そのほか、通常はテキストに付いている文型一覧や、五十音図などが書いてある「したじぎ」を特別にいただきました。

参加者からは「相手に伝わらなかったときは、言い換えることやリソース教材を上手に使うことが活動のヒントになりました」「とてもわかりやすい説明で、時間いっぱい集中できました」「具体的な学習方法を示していただき理解しやすかったです」などの感想がありました。



岩田 一成氏
(聖心女子大学文学部 准教授)



会場の様子

岡山フェアウェルパーティー

3月6日(日)

3月で岡山を去る外国人留学生や研修生の送別パーティーを開催しました。

12か国49名の外国人と日本人の参加者計87名は、食事を楽しみながら思い出話に花を咲かせ、フィリピン伝統舞踊を見ながらフィリピンの文化に触れたり、マジックサークル「うらじゃ〜ズ」によるマジックを楽しんだり、歌手志望の二宮 里菜氏の歌を聴いたりして、大いに盛り上がりました。

今までお世話になった先生へ感謝の言葉を述べながら岡山との別れを惜しむ卒業生と、



ペッカリーと一緒に記念撮影

これからの新しいスタートを応援する先生や友達との絆が深く感じられました。外国人と交流を深めるために参加した日本人が、外国人に声掛けしたり、写真を撮ったりしながら楽しむ様子も見られました。

今年BIZEN中南米美術館のキャラクター「ペッカリー」が、歌の披露をしたり岡山クイズゲームコーナーを進行したりしながら会場を盛り上げ、参加者から好評でした。日本文化公演では、踊り連「地球人」のメンバーがうらじゃ踊りを披露しました。その後、参加者全員が地球人のメンバーと一緒に輪になって総踊りを楽しみ、思い出に残る時間を過ごしました。



こちらのQRコードを読み取り、動画をご覧ください。

うらじゃ踊り連「地球人」と一緒に総踊り!



集合写真

いろんなことを知った上で、 自分の生き方を見つけることが大事

J1昇格を目指すファジアーノ岡山。自身の新たな挑戦のため、1人の元日本代表選手が加入した。幾度の海外遠征やタイチーム所属経験を持つ岩政選手に、サッカーを通じて感じた異文化理解について伺いました。

サッカーほど、 世界で行われている競技はない。

—鹿島アントラーズでの10年間に、4人の
ブラジル監督のもとでプレーされました。

「ブラジル人という大きなくくりでは似ているところもありますが、それぞれ個性が強かったです。選手として自分のやりたいことを残しながら、監督の要望にどう応えていくかというバランスを常に意識してプレーしないとイケない。それを間違えてしまうと、監督に誤解されたり、言葉で伝えようとしても正確に伝わらなかったりするので、行動で示すしかなかったです」

—数々の海外チームとの対戦経験をお持ちですが、どのような気持ちで挑まれましたか？

「サッカーの素晴らしいところは、世界中で行われているということです。アフリカやヨーロッパ、アジアのいろんな国に行き対戦をしました。環境や育ってきた文化が違うので、サッカーへの考え方も違いますし、その根本が違うということは面白かったですね。日本とどう違うかというよりも、そのままを受け入れていくことが大事だと思いました。先入観や今までの自分が生きてきた環境に置き換えて物事を考えがちですが、それに当てはまらない選手たちとプレーするわけですから、同じ感覚で挑もうとしても難しいところがあります」

—各国との対戦で、印象に残っていることを聞かせてください。

「サッカーの場合、相手のホーム（本拠地）にのりこんで試合をすることが一つの醍醐味で、サポーターの後押しによってサッカーが変わってくるのが面白いです。特に、海外で勝負のかかった戦いで顕著だったと思います。同じ相手でも別種の試合が行われる。それはすごく面白かったですね」

—2014年、タイのチームに移籍して感じた

日本との違いはありますか？

「仕事に対する考え方ですね。日本人は、今より良い仕事をして、自分を高めて、生活を良くしていく、そう考える人が多いですよ。でもタイでは、物価も安いですが、安い賃金で仕事をして、それで生活がまわって、皆、幸せな顔をしているんです。自分を戒めて高めてやっていこうという意識の高い人ばかりではない。それを頭では理解していても、チームメイトとして受け入れるのは、難しかったところがありますね」

—国民性の違うタイ選手中心のチームを、
どのように引っ張ってこられましたか？

「僕が基準を示していくということですね。僕が自分の信じていることをやり続ける姿勢を崩さないでいれば、それを見て、どの部分を取り入れて、どの部分を取り入れないかは、彼らが決めればいい。そこからタイのサッカーをどうしていくのかは彼らの問題です。今、タイのサッカーは変わってきていますし、そんな息吹の中で、彼ら自身で変わった部分もたくさんあります。そういう変化に少し関わられたというのは僕の財産になりましたね」

海外での苦しい経験にも 逃げずに立ち向かう。

—これまでの経験を踏まえ、異文化でのコミュニケーションについて聞かせてください。

「僕の生き方は、タイ人にとってはカルチャーショックだったと思いますし、衝突したこともありました。それはタイだけではなく、鹿島での外国人選手や監督もそうでした。一時的に軋れぎが生まれたこともありました。結局、どこの国の人にも伝わるものは伝わるのだと思います。例えば、今でも連絡をくれるタイ人は、衝突したような選手ばかりなんですよ。衝突したり向き合ったりすることは避けて通りがちですが、自分の



PROFILE 1982年生まれ。山口県出身。大学卒業後の2004年から10年間、鹿島アントラーズに在籍。J1リーグ通算290試合出場。2007年から2009年Jリーグベストイレブン。日本代表に選出され各国との対戦を経験。2014年、タイプレミアリーグのBECテロサーサナFCに移籍。昨年ファジアーノ岡山に加入しキャプテンとして活躍中。

中にビジョンや信念があれば、相手にぶつかっていくべきです。タイに行っている間、苦しいことはかりでしたが、最終的にいろんな人に伝わって、いろんなことが得られたということは、自分がそこから逃げずに立ち向かったからだという気がしています」

—これから海外に向かう人たちにメッセージをお願いします。

「海外の人と触れ合うというのは、自分の中で作り出した当たり前に気付くことだと思うんです。自分の当たり前が、彼らには当たり前でない。それはほとんど勝手に自分だけがこだわっていることで、どうでもよいこともたくさんありますが、ここは譲れないところもある。つまり、いろんなことを知った上で自分の生き方を見つけていくことがすごく大事だと、最近、思っています。最初から相手のことを受け入れる、受け入れられないじゃなくて、力の抜けた状態で飛び込んでいくことが大事かなと思います」

—最後に、今年はチームにとってもご自身にとっても「勝負の年」ということですが、ファジアーノ岡山での目標をお願いします。

「ファジアーノが強い組織になることですね。僕がいる間に昇格してくれば一番うれしいですが、それ以上に、目先の結果を大事にしながらも、クラブが強いチームになっていくために必要だと思うことをやり遂げたいです」



ファジアーノ岡山 7月試合日程

2016年7月3日(日) vs 清水、7月16日(土) vs 札幌、7月20日(水) vs 横浜FC
いずれもシティライトスタジアムにて、清水戦は18時、札幌戦と横浜FC戦は19時キックオフ
試合のお問い合わせは、ファジアーノ岡山まで(TEL : 086-948-5654)

「ジュンブライド」は直訳すると6月の花嫁。欧米では、6月に結婚すると幸せになるという言い伝えが古くからあり、今では日本でも広く知られています。

アメリカ



マランガン・ジョン・エリスさん
(カリフォルニア州出身)
英会話講師／滞在歴2年

カトリックの結婚式は教会で行い、新郎新婦が神父と列席者の前で結婚の決意表明をし、相互の絆を結び、神の恵みと祝福を求める儀式(ミサ)を行います。式には、新郎新婦の世話役を務める付き添い人として「グルームズメン」「ブライズメイド」と呼ばれる友人や親族などが二人をサポートします。



友人の結婚式にて

式の後にはパーティ会場(ビーチや公園など)へ移動し、出席者全員で乾杯! 食事をしながら、友人や両親が語る二人のエピソードを聞いたり、ダンスを踊ったり、記念撮影、ブーケトスなどを行います。日本のような祝儀の決まりはなく自由で、生活グッズなどをプレゼントしたりします。



パーティでダンスを踊る新郎新婦

ベトナム



ファン・グエット・ミンさん
(ダナン市出身)
会社員／滞在歴9年

ベトナムの結婚は式と披露宴があります。式は新郎と新婦の家の先祖の仏壇の前で行われます。まず、新郎と家族が礼物*を持って新婦の家に行き、式を行います。その後、みんなで新郎の家に行き、もう一度式を行います。式の後には披露宴が、レストランやホテルなどで行われます。



縁起の良い礼物がずらり

披露宴には新郎新婦の両親や友人、親戚などが集まります。新郎新婦の前撮りした写真や映像の鑑賞、両親や友人からの祝福、ケーキ入刀式、来場者の出し物や記念撮影など内容が豊富です。新婦は、式の時には伝統的なアオザイ、披露宴の時にはドレスを着ることが多いです。

※礼物…花婿の家が、花嫁を迎える経済力があることを見せるために準備するもの。



いとこの結婚式の様子



Think Global, Act Local
県内国際団体のご紹介

特定非営利活動法人 岡山日本語センター



特定非営利活動法人岡山日本語センター(OJC)とは?

国籍や人種等の区別なく、誰もが生活者として心の通うコミュニケーション能力を高め、お互いに理解し合う心豊かな多文化協働社会の構築に貢献する組織です。1984年に設立され、以下の6事業を毎年確実に実施しています。

代表理事 浦上 典江



楽しくて真剣な授業



手作り料理と国際交流

事業紹介

- 日本語教育事業**
OJCメソッドに則り、OJC作成の教科書・教材を使用した日本語教室を運営(週9回)
- 日本語教科書／教材作成及び販売事業**
教科書5種類(到達度テスト、漢字練習帳、指導案付き)、教材数種類を随時改訂して、受講生及び希望する組織や個人に販売
- 日本語教員養成事業**
会員と一般希望者対象の日本語教授法研修会、並びに「OJCだより毎週発行」によって日本語教育能力養成
- 日本語教育受託事業**
行政、協会、大学、企業、組合、NPOの教育機関から、日本語・日本文化講座を受託
- 日本語教育情報交換事業**
国際交流団体や日本語教育組織との情報交換によって、世界の安全と平和に貢献
- 共生社会推進事業**
ふれあいパーティ、国際料理教室、学校や公民館における国際理解講座の開催によって、共生社会推進と青少年の健全育成を支援

会員募集!

事務局 〒700-0811 岡山市北区番町2-3-27
TEL/FAX 050-3612-2007

E-mail ojc@diary.ocn.ne.jp
U R L http://ojc.jp/

岡山県国際交流協会では、県内在住の外国人を対象に、サポーター派遣事業（通訳ボランティア）を実施しています。詳しくは、情報班までお問い合わせください。
TEL:086-256-2914（月～土曜日 9:00～17:00）

多文化共生コミュニケーションサポーター派遣

言葉の壁による誤解等が生じやすい、学校現場での教師等と外国人児童・生徒、保護者とのコミュニケーション、行政機関窓口等での外国人と窓口担当者等とのコミュニケーション、医療機関等での医療関係者と外国人患者とのコミュニケーションの円滑化を目的として、通訳ボランティアを各機関や外国人からの要請に応じて派遣しています。ボランティアによる通訳のため、高い専門性が求められる通訳は対象外とします。

子ども日本語学習サポーター派遣

県内在住の外国人児童・生徒の日本語学を支援するため、県内の小・中学校又は市町村の教育委員会等から依頼を受け、ボランティアを派遣します。原則として、日本語で行います。

派遣期間：平成28年5月2日(月)～平成29年2月28日(火)

受付期間：平成28年4月～平成29年1月14日(土)月曜日～土曜日
(ただし、12月29日(木)～1月3日(火)を除く。)

活動内容：小・中学校における放課後の日本語指導、教科学習の補助
地域の公民館等での日本語指導等

活動支援

日本語教室開設・活動支援事業

県内在住外国人にボランティアで日本語を教える活動を推進するため、日本語教室を新規に開設する団体及び既存の日本語教室で質的向上や拡充を図る団体等に対して、支援を行いますので、ご活用ください。

対象団体

県内に住所を置き、月2回以上、定期的かつ自主的に、地域に在住する外国人を対象とした日本語教室を運営、又は運営しようとしている個人又は団体。

対象事業

在住外国人支援を目的としたボランティアによる日本語教室の開設又は質的向上や拡充を図る事業で、原則として平成29年2月末までに実施する事業。

助成金額

1事業につき上限3万円

申請方法 & 問合せ

申請書様式を協会のホームページからダウンロードし、郵送又は持参。
事業の詳細(実施要項、募集要項)はホームページをご覧ください。詳しくは情報班まで。

国際理解・協力活動等助成金(NGOの活性化支援事業)

岡山県内のNGOや国際交流団体等の活動を支援するため、事業経費の一部を助成します。

対象団体

活動の本拠地が岡山県内にある国際交流・協力活動等を行っているNGO等(団体設立の準備段階にある場合も含む)。

対象事業

おおむね次に掲げる事業で、原則として平成29年1月末までに完了する事業。

- (1) 国際交流または国際理解を促進する事業
- (2) 国際協力・貢献に関する事業
- (3) 在住外国人の支援に関する事業
- (4) 多文化共生に関する事業

助成金額

1事業につき上限5万円(原則として総事業費2分の1以内)

受付締切

7月29日(金) ※消印有効

申請方法 & 問合せ

申請書様式を協会のホームページからダウンロードし、郵送又は持参。
事業の詳細(実施要綱、募集要項)は、ホームページをご覧ください。詳しくは情報班まで。

外貨コイン募金

協会では、このたび外貨コイン募金の受付を開始しました。皆様からご寄付いただいた募金は、ユニセフを通じて世界の子どもたちの支援に役立てられます。募金箱は、岡山国際交流センター 1階 情報相談コーナーのカウンターに設置しています。海外旅行等で余った外国のコインがありましたら、ご持参ください。



会員募集

一般財団法人岡山県国際交流協会では会員を募集しています。

☆会員の特典

- 会報誌「おかやま国際交流」による国際交流情報の提供(年4回)
- メールマガジンの配信(月1回)
- 協会主催事業への参加費割引(団体会員は1団体2名までを割引)
- 入会時に記念品をプレゼント

☆年会費

個人会員：2,000円 団体会員：10,000円
賛助会員：30,000円

☆申込み・問合せ 総務課まで

TEL:086-256-2000 ※9:00～17:30(月～土曜日)

E-mail:kokusai@opief.or.jp



7月

3日(日)・16日(土) 子ども日本語学習サポーター研修会

「子ども日本語学習サポーター」登録者の継続的なスキルアップと新規登録希望者を対象に研修会を開催します。

- と き 第1回 7月3日(日) / 第2回 7月16日(土)
- と ころ 岡山国際交流センター 会議室等
- 対 象 協会「子ども日本語学習サポーター」登録者及び新規登録者
- 定 員 20名程度(要申込み)
- 申込み 情報班まで

10日(日) 「岡山のCOOL 発見!」 第1回

～岡山の路面電車で街歩き～

様々な国出身の県内在住外国人6名が、岡山市内を走る路面電車に乗ったり、沿線を街歩きしたりする中で発見した岡山のCOOLを語り合います。

- と き 7月10日(日) 13:30～15:00
- と ころ 岡山国際交流センター 1階 ロビー
- 対 象 一般県民
- 参加費 無料(入退場自由)
- 共 催 一般社団法人大学女性協会岡山支部
- 申込み 不要
- 問合せ 企画班まで

24日(日) 英語による絵本の読み聞かせ研修会

「英語による絵本の読み聞かせ会」で活動しているボランティア講師の資質の向上と、絵本を使って子どもの英語力を高める指導方法に関心を持つボランティアの拡大を図るため、スキルアップ研修会を開催します。

- と き 7月24日(日) 14:00～16:00
- と ころ 岡山国際交流センター 5階 会議室(2)
- 講 師 服部 美佳氏
(放送大学岡山学習センター 客員准教授)
- 対 象 英語の読み聞かせに興味を持っている方
- 参加費 無料
- 定 員 30名(要申込み)
- 申込み 情報班まで

30日(土) 地域共生サポーター研修会

岡山県内で生活する外国人住民のコミュニケーションや生活面の支援を行う「地域共生サポーター」として登録したボランティアに対し、在住外国人が抱えている問題を知り、サポーターとして活動するためのネットワークづくりをするための研修会を開催します。

- と き 7月30日(土) 13:00～16:00
- と ころ 岡山国際交流センター 7階 多目的ホール
- 内 容 団体活動発表、交流会 ほか
- 対 象 地域共生サポーター登録者
- 参加費 無料
- 定 員 30名(要申込み)
- 申込み 情報班まで(6月20日(月)受付開始)

7月

31日(日) **NEW** 日本文化体験・交流会

在住外国人に日本文化を紹介するとともに、体験する機会を提供し、親しみや理解を深めてもらいます。

- と き 7月31日(日) 9:30～14:00
- と ころ 岡山国際交流センター 地階 レセプションホール、5階 和室、5階 調理実習室
- 参加費 外国人：無料、協会会員：無料、一般：2,000円
- 定 員 在住外国人30名
(日本文化体験20名、交流会のみ参加10名)
一般県民30名(交流会のみ参加)
- 申込み 情報班まで(6月27日(月)受付開始)

8月

6日(土) 研修員ふれあい講座 ～ブラジル編～

- と き 8月6日(土) 14:00～16:00
- と ころ 岡山国際交流センター 地階 レセプションホール
- 問合せ 企画班まで(7月6日(水)受付開始)

13日(土) ウェストサイドカーニバルへの出展

- と き 8月13日(土) 11:00～20:00(予定)
- と ころ 岡山コンベンションセンター 1階 ロビー
- 問合せ 企画班まで

下旬(予定) 国際理解ワークショップ

国際性豊かな人材の育成と地域の国際化を推進するために、ワークショップを開催します。

- と き 8月下旬(予定)
- と ころ 岡山国際交流センター
- 対 象 学校教員及び国際理解教育に関心のある県民
- 参加費 無料 ●定 員 20名程度(要申込み)
- 後 援 岡山県教育委員会(予定)
- 問合せ 企画班まで(7月下旬受付開始)

9月

11日(日) 英語による絵本の読み聞かせ会②

講師の母国の話を聞くコーナーもあります。様々な国に触れ合いながら英語が楽しめる読み聞かせ会です。

- と き 9月11日(日) 11:00～11:30
- と ころ 岡山国際交流センター 4階 図書資料室
- 講 師 岡山在住の留学生及び外国人
- 参加費 無料
- 対 象 県内在住の外国人及び日本人の子ども(3歳～小学6年生)とその保護者等
- 定 員 なし(申込み不要) ●問合せ 情報班まで

25日(日) 地球市民講座 第1回

平成28年3月、ベルギーで起きた爆弾テロのニュースをうけ、ベルギーの移民受け入れの歴史、現状に触れ、多文化共生について考える講座です。

- と き 9月25日(日) 13:30～15:00(予定)
- と ころ 岡山国際交流センター 2階 国際会議場
- テーマ 「日白修好150周年～移民の国ベルギー～」
- 参加費 無料 ●定 員 80名程度(要申込み)
- 申込み 情報班まで(8月上旬受付開始予定)

問
合
せ

一般財団法人 岡山県国際交流協会

企画情報課 情報班・企画班

☎086-256-2914 (月～土 9:00～17:00)

総務課 ☎086-256-2000 (月～土 9:00～17:30)

会議室等の予約 受付管理班 ☎086-256-2905 (9:00～18:00)

【休館日】12月29日～1月3日及び臨時休館日(ただし日曜日は貸室業務以外休み)

編集・発行

〒700-0026 岡山市北区奉還町2-2-1

岡山国際交流センター内

一般財団法人 岡山県国際交流協会

☎086-256-2000(月～土 9:00～17:30)

☎086-256-2226

ホームページ: <http://www.opief.or.jp>

E-mail: kokusai@opief.or.jp